

過労運転防止認定機器一覧

◆ 休息期間における運転者の睡眠状態を測定する機器

機器名称(型式)	機器の概要	メーカー(問合先)	見本
1 スマートウェアラブル (HDP19)	「スマートウェアラブル」を利用し、事業者・運行事務所毎に乗務するドライバーの睡眠状況を運行管理者用管理画面で一元管理を行い、ドライバー毎の睡眠状況等を把握します。「スマートウェアラブル」をドライバーの手首に装着して使用することで、睡眠時間(深い眠り、浅い眠り)と血圧、心拍数、歩数等の計測ができます。ドライバー自身でもスマートフォンで健康状況の確認することが可能。 (https://www.withus-group.com/pdf/driverhealthadmin.pdf)	株式会社ウイズアス (03-6435-5570)	
2 FHM Safety for Windows	パソコンを使用して運転者の疲労度(フリッカー値)を計測(約50秒)し、各人の過去の計測データと比較して疲労度を評価して表示します。また管理者機能として、複数の運転者の計測結果を解りやすく一覧表示したり、計測結果をデータとして出力することが可能。 (https://www.trypro.co.jp/疲労度測定管理システム-fhm-safety)	フリッカーヘルスマネジメント株式会社 (03-5790-9295)	
3 携帯型心電計 カード・ガードCG-2100	自分で心電図を記録し、固定電話又は携帯電話(スマートフォン・ 아이폰含む)でコールセンターに伝送して、その結果を得ることが可能。 右手のひらと胸部(又は左手のひら)の双極誘導で心電図が記録。 (http://www.heartcare-l.jp)	ライフウォッチ・ジャパン株式会社 (03-6326-4926)	
4 簡易疲労・ストレス測定システム (VM600・アンドロイドアプリ) (MF100・iOSアプリ)	測定機器(VM600又はMF100)はスマホ又はタブレットとBluetoothで接続し測定者の心拍変動データをネットワークを介してサーバーに送信し、心拍変動データの解析を行い、その結果をスマホ又はタブレットに表示します。更に運転管理責任者はサーバーから各ドライバーの詳細なる測定結果ID別でダウンロードすることが可能で、日々のドライバーの健康管理にも活用できます。	株式会社疲労科学研究所 (06-6308-1190)	 測定時の両手の位置
5 Mi Cardio health	運転者の睡眠状態を測定できるウェアラブル生体センサーです。 本製品には3つのセンサー(①心拍計、②体表面温度計、③超高精度3軸加速度計)が内蔵されており、睡眠の質、睡眠時無呼吸数、睡眠時無呼吸時間、寝返り回数などを計測する事が出来ます。本製品は小型・軽量・コードレス設計で、胸に貼り付けるだけで簡単に計測する事が可能です。睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査、ドライバーの健康管理に活用できます。 (http://micardiohealth.info)	CBC株式会社 (03-3536-4587)	